

小さな親切

小六

みなさんは、親切を見つけたたり、されたり、だれかにしたりしたことはありませんか。親切な事をしてもらったらうれしいですよ。

私は、この前の週末、意外な場所で親切を見つけました。それは、山登りに行った時のことです。道中、細い道がたくさんありました。私が細い道を登っていくと、おじさんが待っていてくれました。私が、「こんにちは。ありがとうございます。います。」

と言ったら、なんだかうれしそうで

した。私もうれしくなりました。次の細い道は、おばさんが通っていたので待っていると、

「こんにちは。ありがとうございます。」と、笑顔で言ってくれました。小さな小さな親切が、人を笑顔に変えてくれました。

頂上に着いてベンチに座ると、目の前の柱に手紙がありました。私はなんて書いてあるのか気になり、その手紙を読んでみると、

「ジャンパーを拾ってくれた方へ。○月×日に落としたジャンパーを拾って、届けてくださいまして、ご親切にありがとうございます。ありがとうございました。」

と書かれていました。ジャンパー

を拾った人はもちろん、手紙を書いた人も親切だと思いました。大切なジャンパーだったからこそ、拾ってくださった方にどうしてもお礼を伝えたくったのだと、私は思いました。山登りに来てよかったですと思いました。山の親切を知ることができたからです。山の神様は、山登りに来た人達に、小さくても親切は心が温かくなって、みんなが幸せになれるということを教えてくれたのではないでしょう。きっと、ジャンパーを拾った方も、手紙を読んで、心が温かくなつたと思います。

山での経験が忘れられず、私は、インターネットで調べてみました。

そうしたら、小さな親切運動という運動があることがわかりました。そこには、東日本大しん災発生後、ひ災地の一日も早い復興を願う応えんメッセーヂがたくさんありました。がんばれ、明日はくるよ、などの言葉がたくさんありました。

日本中の人達が、一日も早い復興を願っていることが感じられました。私が住んでいる日本は、元氣や勇氣をなくしてしまつた人々に温かい言葉をかけていて、私はうれしくなりました。

他のページを開いてみると、私の目にとまる言葉がありました。それは、あいさつは、相手を勇気づける、という言葉です。私は、今までのあ

いさつをふり返ってみました。

地域の方に会った時、あいさつをする、必ずあいさつが返ってきて、気持ちよく学校へ行けます。一方、高校生くらいの人にあいさつをして、あいさつが返ってこないと何だかいやな気持ちになります。あいさつは、人と人をつなぐ大切な言葉なので、人に会ったらあいさつをしていきます。

私は、たくさんの親切に気付きました。どれも人を喜ばせてくれる親切でした。ちよつとしたことでもいろいろな親切があり、いろいろな笑顔が生まれます。山登りでは、少しの心づかいが大切だということを学びました。

調べたことでは、日本が温かい国だということ、あいさつが大切だということ、気持ちを改めて感じました。ちよつとした心づかいが、こんなにうれしいことだということが分かりました。私は、これからも相手の気持ちを考えて、人のために働ける大人になりたいです。そんな夢に向かって、今、スタートを切ります。

